

おわりに ～東海村地域福祉計画推進会議 委員からのメッセージ～

■松井 淳子委員

「幸せ」を何に感じるかはひとそれぞれですが、誰かの思いやりに触れた時はみんな幸せな気持ちになると思います。「福祉活動」というとなんだか難しい気がするけれど、日常の中の小さな思いやりが広がって、たくさんの幸せが生まれる。それがはじめての一步なんだとこの会議に参加して学ぶことができました。

■小泉 愛葉委員

私が地域福祉計画推進会議に参加して、東海村の良さについて学びました。これからの東海村を作りつつも今の東海村も大切にしながら過ごせれば良いのかなと思います。東海村らしい計画を立てることができてとても嬉しかったです。若者の意見を取入れてもらえて良かった。

■澤井 咲希委員

地域福祉計画の策定に関わり、多様な立場の意見を踏まえる重要性を実感いたしました。高校生会での地域活動を通じ、人と人とのつながりの大切さも改めて認識しております。今後も世代を超えた支え合いを大切に、よりよいまちづくりに取り組んでいきたいです。

■渡部 のぞみ委員

福祉を大学で学んでいる中で、地域福祉計画の策定に関わることができ、地域の強みや課題を知ることができたことはとても貴重な経験となりました。これからも私たちの世代の声を発しながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりに関わっていきたいです。

■川口 優羽委員

地域福祉計画推進会議に参加して、地域の現状や課題に向き合うことが、いかに大切であるかを再認識しました。従来の形式とは異なり、私を含む学生の意見を取り入れた計画になっているため、新たな世代のニーズが実現されるための計画になっていると感じます。

■岡部 恵子委員

前回から引き続き本計画の策定にあたり、村民代表の若手の皆さんが、グループワークを通して村の未来について熱く語る姿に夢と希望を強く感じました。さらに、お互い様で支えあう日本社会の文化を大切に、私のような地域の高齢者がより高齢の方を見守り、ボランティア活動等を通して、地域の支え手になることが大切であると痛感しました。

■照沼 恵子委員

東海村に住んで 46 年、成り行きで今日に至ります。ご縁があり地域福祉計画推進会議に参加させて頂いております。高齢になると不自由な事が増えますが、人とのつながりがあることで助け合いの関係が生まれ、助け合うことで互いの喜びにもつながると感じています。会議に参加する度に発見があり刺激的な楽しい時間になっています。

■飯島 真里子委員

次世代を担う高校生・大学生を交えた会議で将来の東海村について活発な話し合いが行われました。現状を把握するために地域に目を向けたことで人との出会いがあり、人生の豊かさに繋がりました。この計画が生かされ、「東海村が大好き」になることを願います。

■有阪 加奈子委員

私は、精神保健福祉分野において、20 年近く活動してきました。今回、さまざまな立場の委員の皆様に出会えたことに、心から感謝しています。地域福祉計画の主役は、東海村に関わる私たち 1 人 1 人です。「こちよいムラ」をともにつくっていきましょう。

■香取 義彦委員

地域福祉計画推進会議に参加して、地域福祉活動の幅広さを学ぶことが出来ました。本計画が村内の皆様へ深く理解頂いて「こちよいムラ」が創れたらと思う幸いです。私も小さいながら一助になればと考えております。本計画が実行に移されることが楽しみです。

■川上 有里委員

今回の計画策定にあたり、東海村に暮らす多様な世代・立場の皆様と意見交換し、貴重なご意見を伺う機会となりました。社協職員として、人と人とのつながりを大切にしながら地域住民の皆様と共に「こちよいムラ」の実現を目指していきたいと思っております。

■仲田 瑞穂委員

生まれ育った東海村の地域福祉について、社協職員として住民の皆様と共に考える時間は大変貴重でした。地域を大切に想う気持ちはみんな同じです。この計画が、未来の東海村をわくわくさせるものとなるように、つながりを大切に、しあわせを広げていきたいです。

第5次東海村地域福祉計画

発行 東海村 福祉部 地域福祉課 地域福祉・地域医療推進担当
〒319-1192
茨城県那珂郡東海村東海三丁目7番1号
電話：029-282-1711（代表）
ホームページ：https://www.vill.tokai.ibaraki.jp
発行日 令和8年3月
